

# 2018年10月27日『RUN伴』に参加しました

『RUN伴』とは、認知症について取り組む地域同士が繋がり、認知症の人も含めて誰もが安心して暮らせる地域づくりを目標に、北海道から始まり沖縄までタスキをつなぐイベントです。



沿道を利用者様と職員で  
オレンジ色に染めて待機



前任の走者からタスキを  
受け取ります



タスキにサインをして出発



頑張るぞー!!



声援ありがとう♥♥♥



途中タスキを交換



沿道には、ご家族の応援も



ゴール!!  
無事タスキをつなげました

『RUN伴』の走者には、代表してデイケアの利用者様お二人にお願いしました。

沿道には、オレンジ色の物を身につけたデイケアの利用者様と、院長を筆頭に、訪問看護師、リハビリスタッフ、介護士、事務スタッフが集まり、応援に参加させていただきました。

走者代表の女性は、感動で終始涙されており、貰い泣きしてしまうスタッフもチラホラ。

この主催団体が目指す、認知症の人も含めて安心して暮らせる地域は、まだ、とても小さな空間ではありますが、すでに存在しております。

それは、堀川病院のデイケアです。

認知症の自覚症状がなく、大好きなコーラスのサークルや、趣味だったグランドゴルフで、なんだか嫌な思いが残るようになり、行くのが嫌になり、家に閉じこもるようになるケースを最近よく見受けます。

もしも、心あたりのあるご家族がいらっしゃれば、どうか、堀川病院をお尋ねください。

沿道で応援させていただいたように、医師、看護師、セラピスト、介護士、事務のスタッフに至るまでチームで、お一人お一人の患者様、利用者様を、応援させていただきます。